

森林資源学

[HOME](#) [学部・大学院](#) [農学部](#) [学部紹介](#) [森林資源学専門教育コース](#)

[専門教育コースの教育理念と教育目的](#) [専門教育コースのディプロマ・ポリシー](#) [専門教育コースのアドミッション・ポリシー](#)
[専門教育コースのカリキュラム・ポリシー](#)

専門教育コースの教育理念と教育目的

(教育理念)

本コースは、森林の有する物質資源と環境資源という二つの側面の調和を図り、地域、国家、世界規模で持続可能な人類社会の構築と維持に貢献しうる人材を養成することを教育の理念としています。



(教育目的)

1. 森林を理解し、これを客観的に記述・評価・分析するために必要な生物学・数理科学・社会科学の知識を修得させる。
2. 森林資源の持続的循環利用のシステム化、途上国の荒廃した森林の修復、先進国における森林資源の安定持続的利用の計画、環境資源としての森林の機能解明に必要な基礎知識と技術を修得させる。
3. これら森林の修復・保全・有効利用を通じて人類の福祉に貢献できる人材を養成する。

卒業後の進路

大学院進学率は20～40%程度であり、就職先については地方および国家公務員、教員、森林組合、林業試験場、木材加工会社、住宅業、流通業などです。

取得可能な学位

学士(農学)

取得可能な資格

中学校教諭一種免許状(理科)
高等学校教諭一種免許状(理科, 農業)
学芸員資格
愛媛大学食育士
測量士補

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

DP1(知識・理解): 健全な言語および自然科学・社会科学の基礎の上に、森林資源の実態を知り、その利用・管理・保全・創生に関する専門知識と技術を理解し、修得している。

DP2(思考・判断): 循環型社会構築のため、資源・食糧・環境に関する地域および国際社会の諸課題を科学的・客観的に認識し、解決策を見いだすことができる。

DP3(関心・意欲・態度): 協調性と高い倫理性に基づき、上記諸課題の解決に自律的・継続的に取り組むことができる。

DP4(技能・表現): 自らの思考・判断のプロセスと結果を論理的に説明するためのプレゼンテーションとコミュニケーションの能力を修得している。



[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針, 入学時に問われる能力)

農学部は、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、また、農学が広範な総合科学であることを考え、食料・資源・環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、多様な能力・適性をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。



(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業・生物資源または工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有している。
 - C. 高等学校で選択履修した教科・科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲を持っている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針, カリキュラムの特徴・特色)

カリキュラムの概要

森林資源学専門教育コースでは専門課程前期で「入門」から始まり、IからIIIまでのオムニバス形式の授業、「森林科学」を必修科目として学びます。これは「見て、触って、感じる」を基本的なポリシーとし、フィールド実習を主体にした授業であり、森林に慣れ、親しみ、学生自らが森林とその利用について問題意識を持つようになることを狙いとしています。平行して行う「森林測量学」と「森林測量実習」は森林を学ぶための基礎技術であり、必修科目になっています。また基礎科目として「森林生態学」、「分子進化学」、「基礎有機化学」、「木材解剖学」が森林の生物、化学、物理を知るために講義されます。専門課程後期では「森林科学」で学んだことの理論づけと実践への導入を目的とし、森林のマネジメント、森林の生態と遺伝、森林工学及び水文学、森林の高度利用および森林の文化と教育に係る幅広い分野の講義を行い、物質資源及び環境資源としての森林の機能解明に必要な基礎知識と技術を習得します。卒業研究では各教育分野に所属し、フィールドでの調査や実験室での実験などを通して自らの問題意識を高め、探求し、それを卒業論文としてまとめて発表します。



カリキュラム・マップ

森林資源学専門教育コース・カリキュラムマップ (PDFファイル 96KB)

[前のページに戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#)